

**中学生男子の低身長症を
ホメオパシーでサポートし
成長ホルモンの投与なしで
3年間で約20センチメートル伸びたケース**

高島亜希代
CHhom5期生
日本ホメオパシーセンター大阪都島
JPHMA認定ホメオパスNo.1031
ZENメソッド修得認定No.0467

【要約】

低身長症との診断を受けるが
成長ホルモン投与の治療を本人が望まず
ホメオパシーでのサポートを続け中学3年間で
約20cm(139→158)身長が伸びた



【主訴】

12歳 男性 低身長

【タイムライン】

出生体重:2700g 母乳 自然出産

1歳 熱性けいれん

2歳 引っ越し

3～5歳 大阪へ

6歳 父母離婚

12歳 中学入学



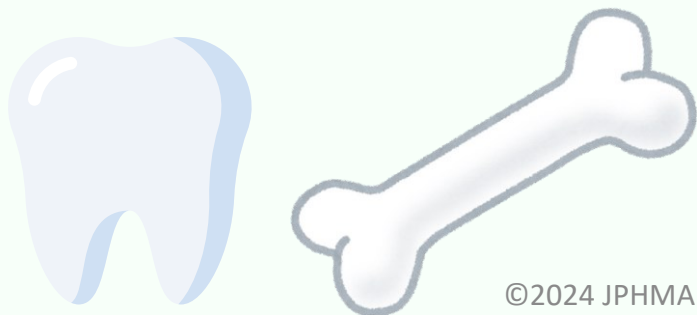
【相談会までの経緯】

歯科医師から

「歯の状態から骨の発育が遅い。」

「成長についての診察を受けたほうがいい」と指摘される

母親が「身長は高い方が良い」という自分の価値観が
息子の本意と違うなら その価値観について見つめ直すことも必要な
のではないかと、思い
ホメオパシーでのサポートを希望され親子で相談に来られた



©2024 JPHMA & AkiyoTakashima



第1回～第2回 2021年6月5日～2021年8月5日

【手法とレメディー選択】

随時：MT) サポート腸内細菌 腎臓

MT) モラス

Ant-pit 12C 脳下垂体前葉(腺)成長ホルモン

朝：Carb-v LM 体温が低い 寒がり

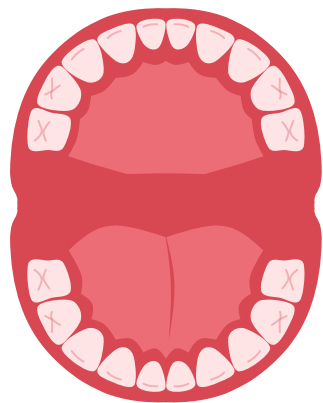
昼：Tub-b LM アレルギー性鼻炎 皮膚症状があることから

夜：Chin LM 痩せている、食べても太らないことから

など



12歳半現在も乳歯が数本残っていること
よく食べるが「食べたらず食べたただけすぐに便が出る」
小柄でとても細身であることから
骨の弱さと栄養吸収の不全が感じられ
骨をしっかりとさせ乳歯が生え代わることを第一目標とした



2021年8月

夏休みを利用して成長ホルモン分泌負荷試験のため検査入院

結果 **脳下垂体に異常なし**

クロニジン、アルギニンの数値が低く

成長率が $-2.0SD$ であり低身長症と確定

クライアント本人が成長ホルモン投与(毎日の注射)の治療を拒否

成長ホルモン分泌促進と骨の成長を主にサポートを選択

アレルギー症状の緩和も念頭にレメディを選択していった



治療についてホメオパスからは

「自分の身体のことだから諭されても空気を読んで

決めなくていいし、どの選択をしても君を尊重するよ」

と伝えた

第3回～第5回 2021年10月16日～2022年2月26日

【手法とレメディー選択】

随時: MT)サポート神経 骨 MT)アルファルファ

Calc-p 12X Calc-f 12X 骨の栄養のミネラル

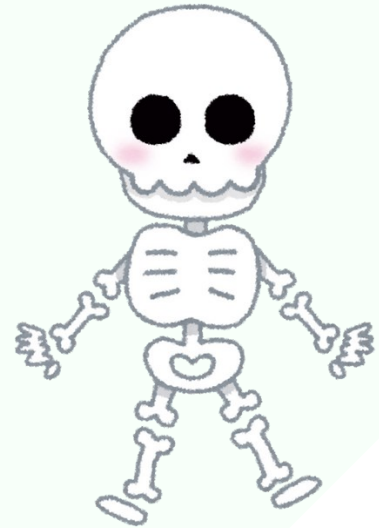
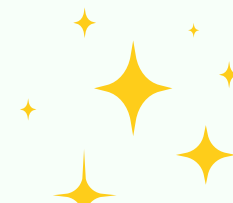
朝: Merc-sol LM 骨が弱い 寒がりだが汗をよくかく

Phos LM 骨の弱さ アレルギー体質、鼻血が出る

昼: Tub-b LM アレルギー体質、皮膚症状

夜: Nux-v LM 消化の問題とアレルギー症状

Konin-w. 30C 本人の望むことをしっかり主張できるように



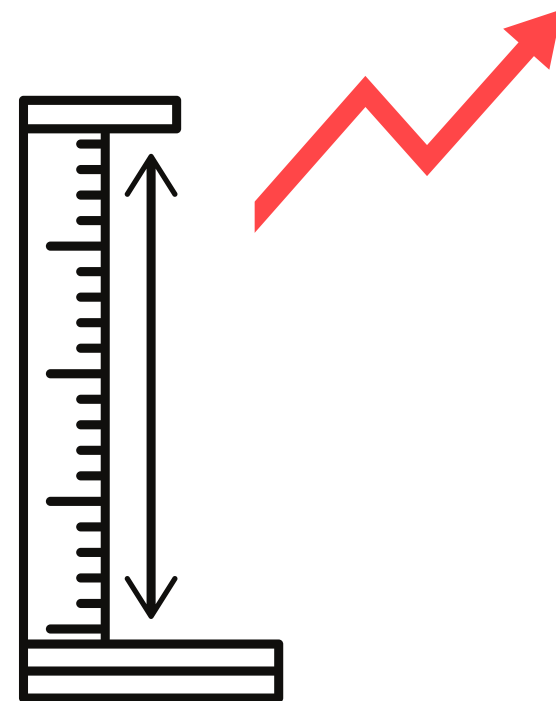
第1回～第5回 2021年6月5日～2022年2月26日

【結果】

3回目の相談会で乳歯が抜けた

5回目の相談会で乳歯が全部生え変わり

身長は5cm伸びた (139cm→144cm)



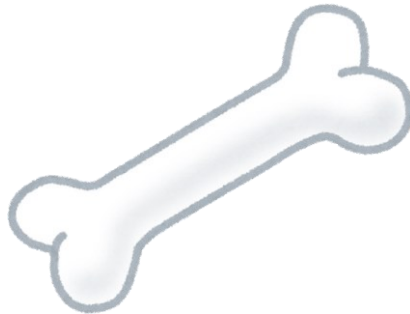
6回目以降

平均身長よりは低いが安定して身長が伸び続けている
体つきも細身ではあるがしっかりしてきた

第2次性徴の声変わりも始まり

クライアントのペースで成長が進んでいると判断

成長ホルモンと骨の補助のミネラルは常に選択しながら、
状況に合わせてレメディを選択していった



第6回～第15回 2022年5月7日～2024年6月29日

【手法とレメディー選択】

随時：サポート肝臓 腎臓 神経 毛細血管 など

Kali-p 12X 神経の疲れ

Adren-c-m-C 30C 緊張の緩和 副腎疲労の補助

朝：Hep Carb-v LM 冷え

Merc-sol LM 骨の弱さ 体温調節が苦手

昼：Tub-b LM アレルギー症状

夜：Rhus-t LM 冷えやすい、冷えることで悪化 皮膚症状

Jyogen-w. 30C ミトコンドリアの活性 冷え性に

Kuzury-w. 30C 受験を乗り越えられるように

途中、高校受験があり受験のサポートも行った



第6回～第15回 2022年5月7日～2024年6月29日

【結果】

高校に入学

身長は本人申告で158～160cmくらい

相談会を開始した2021年春(中1)～2024年春(高1)
にかけて約20cm身長が伸びた (グラフ参照)

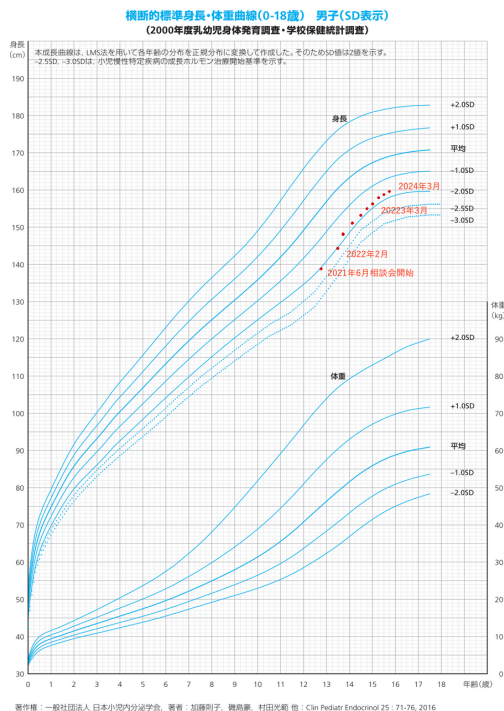
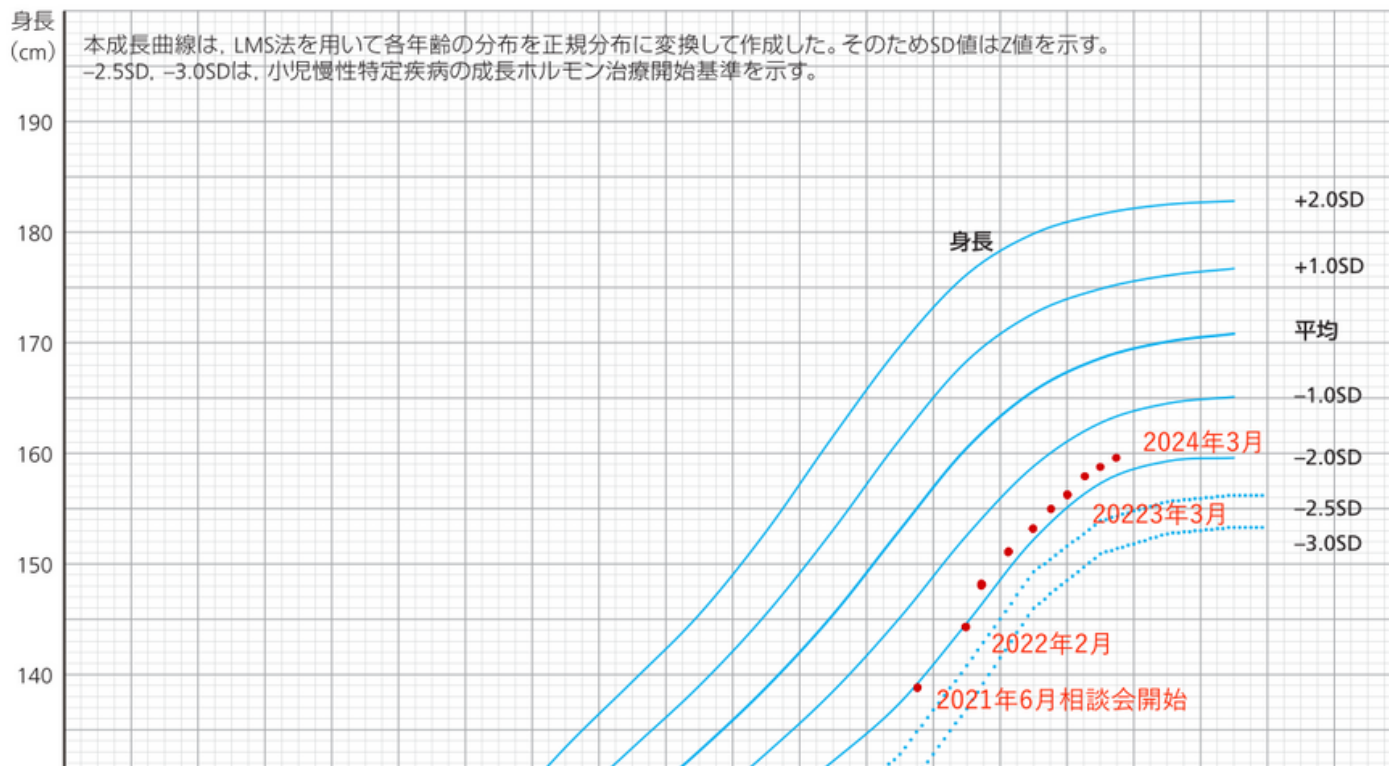


同時期に成長ホルモンの治療を選択した友人は
毎日注射を打つことが苦痛になり途中でやめたが
身長はクライアントとほぼ変わらず
「治療を選択しなくてよかった」と母から報告があった



参考図表

横断的標準身長・体重曲線(0-18歳) 男子(SD表示)
(2000年度乳幼児身体発育調査・学校保健統計調査)



2021年6月～2024年3月 約3年間で
139cm→158cm

横断的標準身長・体重曲線(0-18歳) 男子(SD表示)
(2000年度乳幼児身体発育調査・学校保健統計調査)

【考察】

男性にとって「身長が低い」のは自尊心に大きく関わることが多いが
本ケースでは相談会の当初からクライアントも
「自分の自然な体型を受け入れていきたい」と主張し
その意向を母も尊重したことが大きい

身長が伸びるとともに、当初は控えめな印象だったのが
中学2年の頃には母に反抗的な態度もとるようになり
精神面での成長も著しく
高校では音楽を始めるなどとても頼もしく成長した

クライアントはホメオパシーでのサポートは
身体に無理な負担をかけることなく
その人に必要な身体的、精神的成長を促せることを
示してくれたように思う

